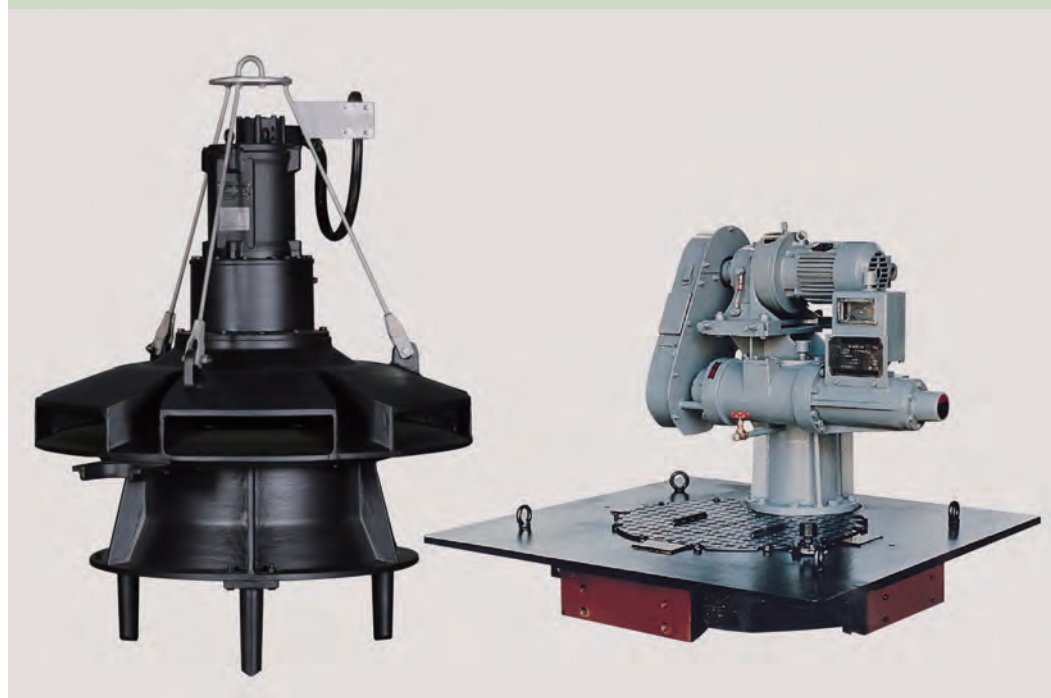


阪神動力機械 株式会社

パームオイル工場への拡販で 東南アジア開拓へ

海外
発注可
納期
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



「アクアレータ」と「汚泥掻寄機用駆動装置」(水処理用)

業務内容 減速機の技術を応用し 水処理施設の動力装置開発

「阪神動力機械」は、歯車減速機の開発・生産をもとに、水処理施設や河川施設の動力装置などを製造し、年間3,000社以上に販売している。設立した昭和25年当時は、製鉄・製紙・化学業界向けに減速機を手がけていたが、その技術を応用して、昭和50年に水中の微生物を攪拌する「水中機械式曝気攪拌装置アクアレータ」を開発。これまで国内1,000カ所以上の下水処理場などに1万台以上導入され、新たな分野へ進出も果たした。最近では東南アジアなど、海外にも目を向け、水分野で需要が見込める地域への販路開拓を積極化している。

強み 壊れにくい 使いやすい製品の開発

河川や下水処理場など1年中稼働し続ける現場では、装置の不具合は許されない。そこで「超堅牢で長寿命な製品づくり」をモットーに、壊れにくいメンテナンスしやすい装置の製作に力を入れてきた。技術や知識に明るい熟練技術者が、品質保証の国際規格ISO9001（平成10年認証取得）に基づき、精度が高く使いやすい製品づくりを心がけている。これにより、従来必要な修理期間を10日からわずか1日半に短縮、さらに保守にかかる費用も半減した。

海外展開 東南アジアでJICAの 支援事業に協力

平成26年にマレーシアの現地企業と代理店契約を結んだ。現地はパームオイル産業が盛んで、インドネシアと合わせて



マレーシア・パームオイル工場における実証実験



本社外観

パームオイルの世界シェアは90%を超える。両国には1,000を超えるパームオイルの関連工場があるものの、排水処理が不完全で環境への悪影響が懸念されている。そこで平成25年からJICA（国際協力機構）の「パームオイル工場の排水処理高度化・資源循環利用普及・実証事業」調査で、「アクアレータ」を使った実験に取り組んでいる。「成果次第では現地で売上増も見込める」と、泉井博行社長は海外販売の可能性を探っている。

今後の展望 内製化による納期短縮

今後は海外展開のほか、製造工程の効率化も進めていく。例えば現在、協力会社で加工した部品を水上工場（兵庫県丹波市）に搬送して組み立てているが、加工に時間がかかり、取引先が求める納期への対応が難しかった。そこで平成29年度中に、減速機の金属部品が加工できるマシニングセンター（MC）を水上工場に導入する。これに平成28年度に導入した高精度の3次元測定器を組み合わせ、減速機に使う高品質なギアを加工し、精度を高める。これらにより一部製品の納期を1ヵ月から1週間に短縮し、高品質製品で顧客対応力を高める計画だ。

当社の歴史



昭和25年の設立以来、歯車減速機の開発・生産をもとに、水処理施設や河川施設などの動力装置などを手がけています。水中曝気攪拌（ばっきかくはん）装置の「アクアレータ」は40年間で1万台を販売し、国内外の水処理施設で使われています。これからも地球環境を守り、社会貢献につながる製品を作り続けていきます。

代表取締役社長 泉井 博行さん

<http://www.hanshin-pm.co.jp/>

主な事業内容

歯車減速機、河川施設用機器、水処理設備用機器、産業設備用機器

主な取引先(納入先)

飲料・食品・化学メーカー、上下水処理場など

- 住所 〒554-0014 大阪市此花区 四貫島2-26-7
- TEL 06-6461-6551
- FAX 06-6461-6555
- 創業 昭和21年11月
- 設立 昭和25年11月
- 資本金 7,260万円
- 従業員 100名